

第4章 第3期計画について

1 策定にあたっての基本的な考え方

(1) 基本的な理念と区全体計画の目標の継承

目指すべきまちの姿は変わらないことから、第1期計画策定時からの基本的な理念と区全体計画の6つの基本目標を継承します。その上で、第2期計画を推進する中で見えてきた課題への対応や、社会の変化などを踏まえた計画とし、取組を進めます。

基本理念

西区に住む私たちは、住み慣れたまちで誰もがにこやかに、しあわせに、いきいきと暮らし続けることを目指します。
そのために、自分たちでできることは自分たちで行い、人々がつながり、みんながともに支えあうまちをつくりまします。

基本目標

目標1	安全が確保され、安心なまち
目標2	活気にあふれ、健康なまち
目標3	一人ひとりの個性を認めあい、みんなが共存するまち
目標4	地域全体がつながりを持つまち
目標5	子どもが健やかに成長できるまち
目標6	必要な情報が正確に伝わるまち

(2) 3つの方向性

計画の策定、推進の過程を通して、地域の主体的な課題解決が進むよう、地域力を高めていくことを目指し、次の3つの方向性に沿って策定します。

【方向性1】地域のつながり・新たな地域福祉の担い手を広げます。

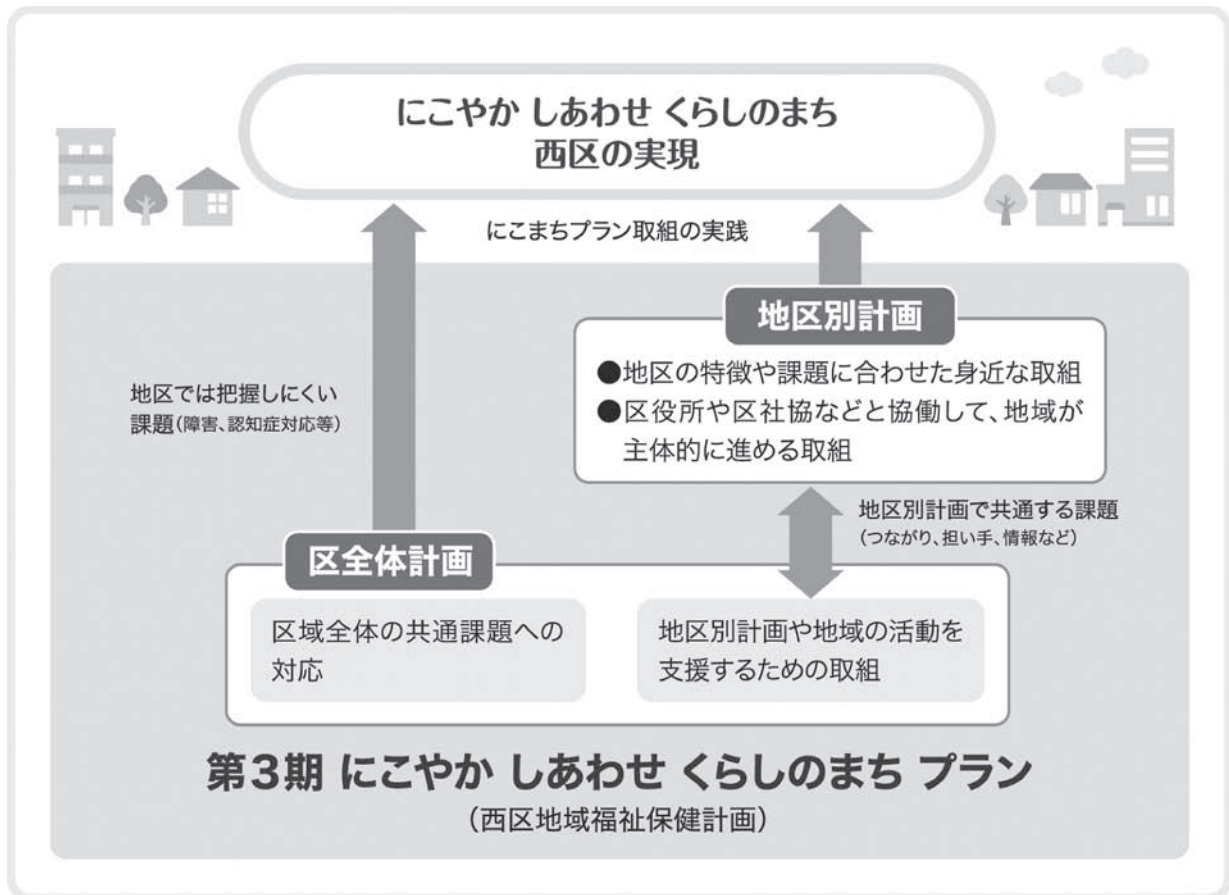
【方向性2】具体的な地域の課題解決の仕組みを強化します。

【方向性3】支援が必要な人を地域で支える仕組みづくりを推進します。

(3) 計画の全体構成

「地区別計画」と「区全体計画」で構成します。

「地区別計画」は、地区連合町内会をエリアとして、地域が課題を把握し、その解決に向けた取組を主体的に進めるための計画とします。「区全体計画」は地区別計画や地域活動を支援するための取組に加え、区全体に共通する課題解決に向けた取組を進める計画とし、「地区別計画」を支援していきます。



(4) 計画期間

平成 28 年度～32 年度の 5 か年の計画とします。

(5) 第 2 期から引き継がれた課題等への対応

ア 地域が主体となった課題解決の仕組みや、住民どうしで助けあい・支えあう仕組みの充実を図るほか、健康寿命の考え方を取り入れた取組を推進します。

イ テーマ別検討と「にこまち トライ プロジェクト」

第 2 期計画における「地区別計画」では、防災や街の美化など、地域が特に身近に感じる課題の解決が、目標や取組となっていました。

また、「区全体計画」では、目標に向け、各分野で活動する団体の取組状況を共有するのみで、その中から見えてくる課題等について十分な検討を行うには至っていませんでした。

こうした状況を踏まえ、第 3 期計画の策定に向けて、地区別計画を検討する地域での意見交換とは別に、「障害」「高齢」「子ども」「ボランティア」の 4 つのテーマで関係する地域や団体の方が集まり、課題の洗い出しを行うとともに、そこに集った方が中心となって進めていけるような取組について検討しました。

そして、その中から、区社協が中心となって地域や団体の方と一緒に取り組むテーマ別の事業を「にこまち トライ プロジェクト」(略称：NTP)と総称し、計画策定に先立ち、平成 27 年度から段階的に実施しています。